

育てたい子ども像と校地見学の意見まとめについて

第4回本町田地区 新たな学校づくり基本計画検討会（以下「検討会」）において各委員から発言のあった内容について整理しましたので、報告します。

1 育てたい子ども像に関するご意見について

委員の皆様からは、自分で動ける・話せるなどの主体性、相手も自分も尊重する思いやり、環境変化に対応できるなどのご意見をいただきました。

また、学校は学びの場であり、子どもたちには癒しの場でもあります。子どもを育てるにあたっては、「絶対にこうでなくてはならない。」といったように、型にあてはめることを強要するのではなく、その子に合った教育をしてほしい、時代時代にふさわしい教育をしてほしい、好きなことを好きなように取り組める環境をつくってあげたいという育てたい子ども像だけではなく、子どもを育てるにあたって大事にしてほしいという観点についてもご意見をいただきました。

今後、これらのご意見や意見募集の内容も踏まえ、3校の学校長が統合新設小学校の教育目標を策定し、教育委員会で策定する基本計画に掲載していくとともに、開校後の教育活動にも活かしていきます。

■委員からいただいた育てたい子ども像

- ・自分の足で歩ける子
- ・共感・協働・思いやりなどをもってほしい
- ・いろいろなことに興味を持って主体的に学んでほしい、それらを体験していく子どもに育ててほしい。
- ・環境の変化に対応できる子に育ててほしい。
- ・「至誠一貫」、常に相手の立場に立って真心を尽くす、相手の立場に立って考えられる優しい心を持った子
- ・自然豊かな環境の中、子どもたちが素直で明るく、元気よく、健やかに、お友達から慕われ、人に優しく、温かな気持ちの持てる子
- ・自分で考えて行動に移せる子
- ・自分で考えて、これが正しい、これは間違っているということを判断できて、それが判断できたときに自分が正しいと思うことができる勇気をもった子
- ・自分の意見も尊重し、相手の意見もちゃんと聞いて、お互い違うところを認めながら意見交換できる子
- ・自分を素直に出せなかったり自分を少し押し殺してしまうことがないような子
- ・自分の意見を言えている子
- ・グローバル化が進む中で、英語などの外国語が話せる子、国際的な視野を持った子
- ・未来社会に生きるため積極性や創造力、いろんな学力をもち、そこに柔軟な心を持った子
- ・NOと言える、嫌なことは嫌と言える子
- ・集団での生活の中での協調やお互いを尊重し合える子
- ・思いやり、この気持ちを育てていただきたい
- ・物事に楽しんで取り組む子（未来への希望を持てる子）
- ・いろいろな人・考え・行動を認められる子（みんな違ってみんないい）

2 本町田東小学校の校地見学時のご意見について

■西側について

- 西側の階段の手すりが思った以上にしっかりしている。
- 西側の階段は子どもたちがたくさん通ると狭いと思う。
- 現地を見たら思った以上に高低差があった。
- 西側階段を下った先が飛び石になっているので、現状では使いづらい。

■南側について

- 緊急用の車両が通れるようになると校庭に入りやすいと思う。
- 子ども達が南側の門から入りやすいように工夫してほしい。
- ひなた村まで道がつながっていれば安全に行くことができると思う。

■東側について

- 上から覗けないような工夫してほしい。
- 斜面を活用できたらいい。
- プールが上から見える位置にあるので工夫してほしい。

■北側について

- 正門で子どもたちと車両が交錯するから安全を確保できるよう工夫してほしい。

■その他

- 学校施設配置の3つのイメージ図ではそれぞれ良いところや気になるところがあるから、全体のバランスを見ながら検討して行ってほしい。